

上海道札限
其原种方等
八月三日
庚親
附





二月

大阪市西區南橋江邊
勝安堂白梅

東京

料是是且は他洋の物
を思ふ一昨日の改定

を本所存之に定む

少生先月可分より微差

新美良中 (東京、
内密)

実より支店中上、藤村

並旗波海貨 といふ

見の積果 空手 株式

会社より五百萬円の邊

本とあり計画して

此等とのしるしを之が生

兼てより精力百萬円が

若くは二に在る百萬円

兼てより精力百萬圓の
義とは二に在るに百萬圓
かた何れも不純と在れば
寧ろ株主公認して好し
計畫は方良好の案に
此、一萬圓の五千名と
云ふ計畫は中々正難
と何申の折柄大楚^{あり計畫}年
即ち少生を二百萬圓の
次第と好し四一拂込
大改之弱百萬圓強りと
其案として公認方よらん
為るは案の古く但し
其の内細部は世に信
認を同お為め公認方
しても宜敷く創立案
兼て田川侯と終

其内相小新^る世^の

徳を同お為め公為^る

しこ^も宜^か家^へ劍立妻

貞長と細川侯と終^る

其^の謙^る踏^ま構^へ第一^の心^を

其^の時^を去^る其^の中^に地位^を名^を認^む

ある人^を推^し去^る子^を故^に

若^し表^す所^を其^の直^を去^る家^を

主^を所^を其^の信^を依^る

其^の方^を其^の著^る文^を就^す

其^の所^を其^の意^を見^る

其^の心^を定^むこ^の思^を心^を

其^の心^を其^の心^を其^の心^を

其^の心^を其^の心^を其^の心^を

其^の心^を其^の心^を其^の心^を

わさるい

めま流々申さ巳こ

此の山見舞の為め

此訪の友人の流し

五百株承諾させ申す

御事幸先好しと致す

申す先王様の御事

此山御事申す山邊

御事御事申す山

三月初四 方々

時々申す

山見舞

山見舞の件東京

極秘の事

春日を山見舞一の誕生

御
手
紙

申小生王城の御手紙

書上意御手紙の山邊より

詳て御手紙申上り此山

三月初四

時中平也

山田先生 敬白

先生御恙の件 東京

一頁極秘の御手紙

幸日を此の日の誕生

と名之祝杯と奉申す

此の御手紙に御手紙

上
奉式日取の件東葉、

大旦念申上同送り

奉式後披露名花催

新印其際老兄也知也

(大政京御神戸附近在任)

一七招請状書送) 誠計

之去先きのころしはは實は

記念品調製の數の却

合有之前以て申上、

其^件より復^は通知

に申上り

記念品考ゆ案出果も

天氣淺らむからん